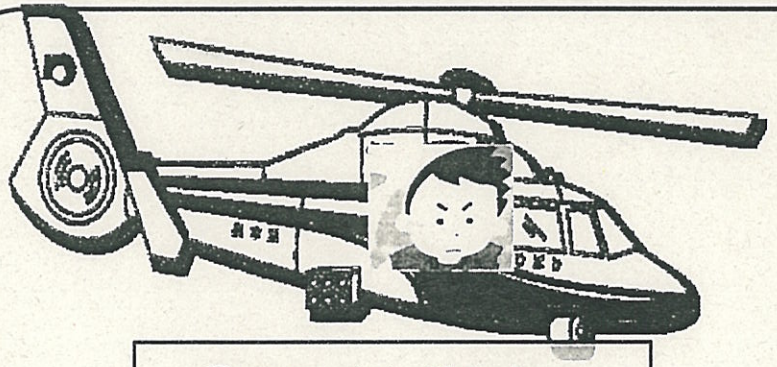
ヘリ要請時の（オンラインＭＣ）医師による指示について



②フライトドクター
（オンラインＭＣ医師）

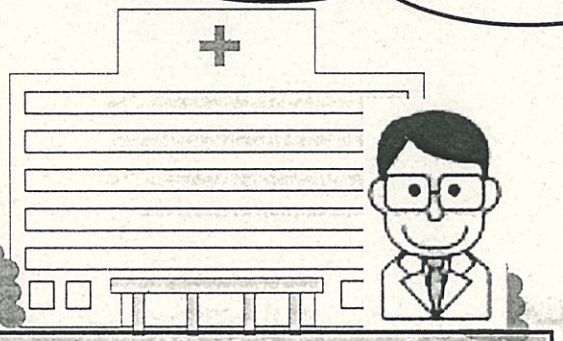
②フライトドクター
（オンラインＭＣ医師）

※救急隊は状況に応じて①又は②のドクターに対して指示要請。
フライトドクターは自地域外の救急隊へも指示可能。

特定行為等の指示

※通信手段は、消防無線・携帯電話等による

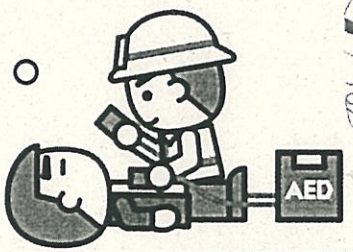
オンコール
（指示要請等）



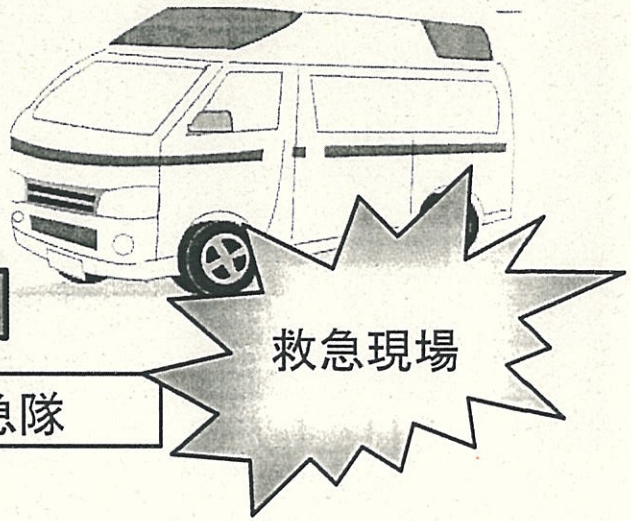
①地域ＭＣ（搬送先）のドクター
（オンラインＭＣ医師）

オンコール
（指示要請等）

特定行為等の指示



救急隊



フライトドクターからの指示について

- あくまでも地域MCのドクターからの指示が最優先
- 以下のような状況の時に適応
  - □ 救急隊が携帯電話の不感地帯にいる場合
  - □ 指示要請に一刻の猶予もない場合
  - □ 災害時　など
- 検討事項
  - □ 地域MCごとのプロトコールの周知徹底をどうするか？
  - □ 事後検証をどうするか？

いずれにしても地域MCごとにご検討いただければと思います

資料 2

平成29年度救急救命士の再教育について（案）

● 昨年度までの取組

熊本県では、救命士の再教育の一端として、平成24年度から県消防学校で集合型教育が行われてきた。
・対象者：5・10・15年目の救命士
・研修内容：基本手技訓練・想定訓練（計8時間）

↓

今年度から各消防本部で実施

● 今年度の取組み

5年目教育（7人）
研修内容・・・基本手技訓練
指導者・・・・・各消防署の指導救命士及び副指導救命士

10年目教育（11人）及び15年目教育（6人）
研修内容・・・PEECコース、PPSTコースを基にした精神科対応法
指導者・・・・・国立病院機構熊本医療センタ精神科　橋本聡　医師

＋

各消防署での想定訓練
指導者：指導救命士、副指導救命士

資料 3

出動車両比較

	ドクターカー	救急車ピックアップ	ラピッドカー	ワークステーション
迅速性	△	○	◎	◎
安全性	△	◎	◎	◎
経済性	△	○	△	○
救命効果	◎	◎	◎	◎
対応時間	△	○	○	△
運転手	△	◎	◎	◎
看護師同乗	△	△	◎	△